



本州四端首長交流会議
宮古市 下関市 串本町 大間町

11月10日から11日にかけて、本州東西南北の端に位置する岩手県宮古市（東端）、山口県下関市（西端）、串本町（南端）、青森県大間町（北端）の首長が串本町に集まり、本州四端首長交流会議が開催されました。この会議は、四端の地域特性を活かした交流による地域活性化を目的に平成19年より開催。平成21年には災害時の相互援助に関する協定を締結するなど関係を深めています。

今回で7回目となる交流会議で



本州最南端の地で本州四端のマスコットキャラクター「よんたん」と四端の首長と「まぐとル」との記念撮影

串本町に本州四端首長が集う 本州四端首長交流会議開催

は、平成16年から行っている本州四端踏破ラリーの踏破人数が累計2千人を越えたことや各地で行われたPR活動について報告されました。また、今後の広報活動について、四端の地理的共通点だけでなく海にまつわる歴史等の新たな共通点を見つけ、アピールできればとの意見がまとまりました。

会議後、4首長は潮岬灯台や潮岬望楼の芝、櫻野埼灯台、トルコ記念館を見学しました。

受章（賞）おめでとうございます



岩谷 悠史さん

法務大臣表彰
人権擁護委員

岩谷さんは、平成17年10月から現在に至るまで自由人権思想の普及高揚に尽力するとともに、人権相談を始めとする地域社会に密着した各種の人権啓発活動に取り組まれています。

大変驚きましたが、人権尊重が何よりも大切にされる社会となるよう今後も精進すべきという叱咤激励と受け止め、責任の重さを痛感しております。



潮崎 忠紀さん

瑞宝双光章
消防功勞

潮崎さんは、昭和49年3月に旧串本町串本消防署職員となられ、平成25年に本部次長、翌年に消防長を歴任。42年1か月にわたり消防、救急等幅広い業務に従事されました。

今までの受章者と比べて若い年齢での受章なのでいいのかなと思います。受章できたことを大変光栄に思います。



佐藤 喜久治さん

瑞宝単光章
防衛功勞

佐藤さんは、昭和50年1月に航空自衛隊に入隊され、34年8か月にわたり業務に従事。串本分屯基地では主に有線整備員を務め、新宮募集事務所では広報官も務められました。

皆さんの協力と支えによって定年退職できました。受章を大変光栄に思います。今後は地域ボランティア等の活動に一生涯懸命努めたいと思います。



震度6強の揺れを体験する児童たち

10月20日、出雲集会所で出雲地区の住民と出雲小学校の児童、教員約80人が参加する減災教室が行われました。教室は地域と学校が共に学ぶ「共育コミュニティ」の一環で、区が共同訓練を企画し、学校が県へ地震体験車「ごりよう君」の貸出を申し込みました。

始めに、東日本大震災発生時に小中学生が自主的に避難をして助かった「釜石の奇跡」についてのDVDを視聴。その後参加者は3班に分かれ、集会所近くの避難経路の確認や「ごりよう君」による地震体験、避難所で使用する間仕切り等の設置訓練を行いました。設置訓練を体験した同校5年生の野村行誠さんは「間仕切りは簡単に作れて快適だった。今度作る時は周りの人に教えたい。」と話していました。



参加者が力を合わせて間仕切りを設置



①避難者の受け入れ訓練 ②中学生による炊き出し ③本部の通信訓練の様子 ④⑤倒壊家屋からの人命救出訓練

11月5日、町内の各所で津波避難訓練が実施され、約2千人の方が参加しました。午前中、大島小学校では島内3地区と小中学校、航空自衛隊、警察、消防が合同で訓練を実施。体育館で避難者の受け入れ訓練や間仕切り等の設置訓練、中学生による炊き出しなど避難後の生活を想定した訓練が行われました。

午後からは串本・古座川官公署等連絡協議会による津波災害対応訓練を実施。航空自衛隊串本分屯基地内では倒壊家屋からの救出訓練、串本大島間の海上では海保巡視艇で傷病者や救援物資を搬送する訓練が行われました。この訓練には航空自衛隊、海上保安署、警察、警察機動隊、消防が参加し、それぞれ連携しながらお互いの動きを確認していました。

訓練後の講評で田嶋町長は「災害時には孤立する可能性が高い地域なので、助けが来るまで地域内で協力し合うことが大切です。」と述べました。

災害から命を守るために

町内各地で避難訓練を実施